

単元名 リズムパターンをつくろう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 音素材の特徴及び構成上の特徴を理解するとともに、創意工夫を生かした表現で、旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けることができる。
- (2) リズムの反復や変化などによるリズムパターンの特徴を理解し、条件に沿って八分音符をつなげる技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を工夫することができる。
- (3) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

11260103_001

【教材名】 八分音符と四分音符を組み合わせるリズム創作

(上 P. 26～P. 27)

【準備等】 範唱音源、タブレット、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 8小節のリズムパターンをつくる。</p> <p>★基本リズムをつないで変化の違いを感じ取ろう。</p> <p>○八分音符による「基本のリズム」を表現し、理解する。</p> <p>○条件を理解し、リズムを変化させる。</p> <p>○リズムを繰り返したり組み合わせたりして、8小節のリズムパターンをつくり、演奏する。</p>	<p>・「はじめに」を活用し、速度の設定と発音を確認して、基盤となる拍や拍子を感じ取らせる。</p> <p>・「活動1」を活用させる。「い」～「は」の三種類のつなげ方を理解し、表現することで雰囲気や「基本のリズム」との違いを感じ取らせる。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用して、3種類のリズムを聴かせることができる。</p> <p>【評】条件に沿って八分音符をつなげる活動を通して、「技能」を評価する。</p> <p>・「活動2」を活用させる。リズムの反復と組み合わせによる8小節の構成を理解しながら表現し、リズム・パートのまとまりを感じ取らせる。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用して、構成例を示すことができる。</p> <p>【評】リズムの反復や組み合わせを工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
<p>2 16小節のリズムパターンをつくる。</p> <p>★曲にふさわしいリズムパターンをつくろう。</p> <p>○「オーラ・リー」の曲想とその変化を感じ取る。</p> <p>○条件に沿ってつくったリズムを使って、曲にふさわしいと思うリズムパターンをつくる。</p>	<p>・「活動3」を活用し、歌ったりリコーダーで演奏したりしながら、4小節のまとまりをとらえさせる。</p> <p>【評】リズムの反復や組み合わせを工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・「活動4」を活用させる。活動の途中で中間発表を行い、他のグループの工夫を参考にさせ、再考させる。</p> <p>・「チャレンジ」を参考にして、身近にある打楽器での表現を考えさせることで、リズムを刻むのに適している楽器について考えさせることができる。</p> <p>【評】条件に沿ってリズム・パートをつくる活動を通して、「技能」を評価する。</p>
<p>3 「オーラ・リー」に合わせてつくったリズム・パターンを表現し、交流する。</p> <p>★曲に合わせてリズム・パートを発表しよう。</p> <p>○作品の意図を説明し、発表し合う。</p>	<p>・完成した作品はまなびリンクのワークシートを活用して記録させる。</p> <p>【評】条件に沿いながら創意工夫をして協働的にリズム・パートをつくる活動への「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

指定された回数で八分音符をつなげ、八分音符と四分音符によるリズムを数種類つくることを基盤にして学習を展開する。さらに、「オーラ・リー」の雰囲気や曲想を感じ取りながら、リズムの繰り返しや組み合わせを工夫したリズム・パートを生かした表現を工夫することで、まとまりのある創作表現を目指す。

【共通事項】 リズム・旋律・テクスチャ・構成